

# Enforcive ver8.4.1.1

## Release Notes

本ドキュメントは Enforcive Enterprise Security ver 8.0.0.3 からのエンハンスメントを記載しております。

### 重要な変更

---

- ◆ 製品ユーザーとして ENFORCEGUI が追加
  - IBM i <> Windows 管理 GUI 間の通信がシステム提供の HTTP ユーザーから製品専用ユーザーに変更されました
    - ユーザークラス:\*User
    - パスワード:\*NONE
- ◆ 新モジュール Firewall を追加(有償オプション)
  - 出口点がない外部通信をポート単位で制御可能にする機能が追加されました
- ◆ 管理マネージャ(GUI)ユーザーに専用ユーザーを選択可能
  - IBM i ユーザープロファイルとは別の内部ユーザーを指定可能  
(ユーザープロファイル、内部ユーザーのいずれかの選択。共存は不可)

### エンハンスメント

---

- ◆ 一般
  - 韓国語のサポート
  - 製品アンインストール時の暗号化設定自動複合化(暗号化モジュール使用時)
  - インストールユーザーの製品管理者登録
- ◆ アプリケーション操作制御
  - SWAP コマンドの拡張
  - FTP セキュア、ノンセキュアの記録
  - ファイルサーバ、機能ごとのログ取得設定
  - DB イベント、ファイルサーバーイベントのジャーナルへの記録
  - システムポリシーにオブジェクトグループを追加
  - 出口点個別停止コマンドの追加

- ◆ アプリケーション監査
  - GUI フィルター設定からレポート生成
- ◆ システム監査
  - レポート時、CURVALCHN をサポート
- ◆ セントラル監査
  - ログパーティション削除履歴の記録
  - ファイル監査抽出時、ユーザーの除外オプションを追加
- ◆ 警告
  - 警告定義のインポート、エクスポートをサポート
  - ファイル監査、追加削除操作時の状況オプション追加
- ◆ レポートジェネレータ
  - 非活動ユーザーレポート、ネットワーク属性レポートなど新しいレポートタイプを追加
  - レポート範囲の出力範囲で Current Day を追加
- ◆ 5250 メニュー
  - Retrieve User Profile を追加
  - カスタム出口点を追加